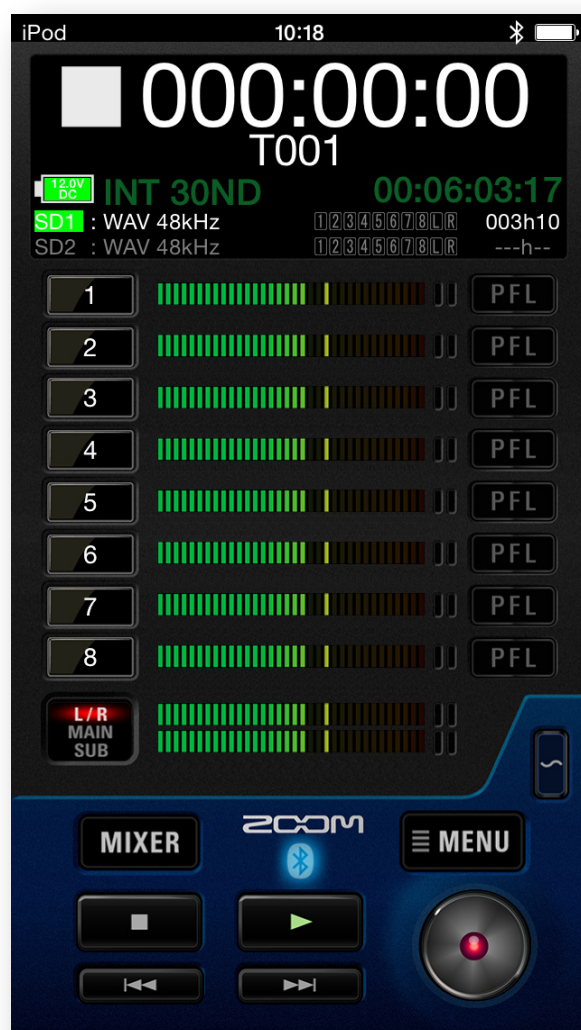




F8 Control

オペレーションマニュアル



目次

はじめに	3
著作権について	3
F8 Controlをインストールする	3
F8 とペアリング(接続)を行う	4
操作画面について	5
画面の流れ	5
HOME画面	6
MIXER画面	6
文字入力画面	7
録音の準備	8
録音するSDカード、録音ファイルの形式を設定する	8
録音する	9
入力を選択するには	9
ステレオリンクを設定するには	9
入力レベルを調節するには	10
録音する	10
録音フォーマットを設定する	11
録音時のテイク設定を変更する	12
再生する	13
再生するテイクを選択する	13
再生する	13
テイクをミキシングする	14
フォルダー／テイクの操作	15
FINDER画面を表示する	15
SDカード／フォルダーの内容を表示する	15
フォルダー／テイクを操作する	16
入力信号に関する設定	18
入力信号のモニターバランスを調節するには	18
トラックごとの各種設定を行う	19
出力に関する設定	21
出力レベルを調節するには	21
スレートトーンを録音する	22
録音する	22
スレートトーンを無効にする	22
その他の機能	23
日付／時刻を設定する	23
F8 Controlのバージョンを表示する	23

はじめに

F8 Controlは、**200M** マルチトラック・フィールド・レコーダー **F8** 専用のリモートコントロールアプリケーションです。iOS機器上で、**F8**の録音／再生などの操作や、ミキサーの調節を行うことができます。

なお、本書では、**F8**本体の操作についての説明はしていません。各機能の詳しい内容については、「**F8**オペレーションマニュアル」を確認してください。

著作権について

iPad, iPhone, iPod, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

＊ 文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

F8 Controlをインストールする

1. iOS機器でApp Storeを起動し、「F8 Control」を検索する

2. F8 Controlの画面で「入手」をタップする

F8 Controlがインストールされます。



MEMO

- F8 Controlの動作環境は以下の通りです。
iOS 7.0以降
- F8 Controlの初回起動時には、操作する**F8**とのペアリングを行う必要があります。(→P.4)

F8とペアリング(接続)を行う

初めてF8 Controlを起動した場合、**F8**と関連づけるために、ペアリング(接続)を行う必要があります。

1. **F8**を起動する

2. **F8**の **MENU** を長押しする

LCD画面に確認のメッセージが表示されます。

3. 回転で「Yes」を選択して、**ENTER**を押す

画面に6桁数字のパスワードが表示されます。



4. F8 Controlのアイコンをタップする

F8 Controlが起動し、パスワードの入力画面が表示されます。



5. パスワードを入力する

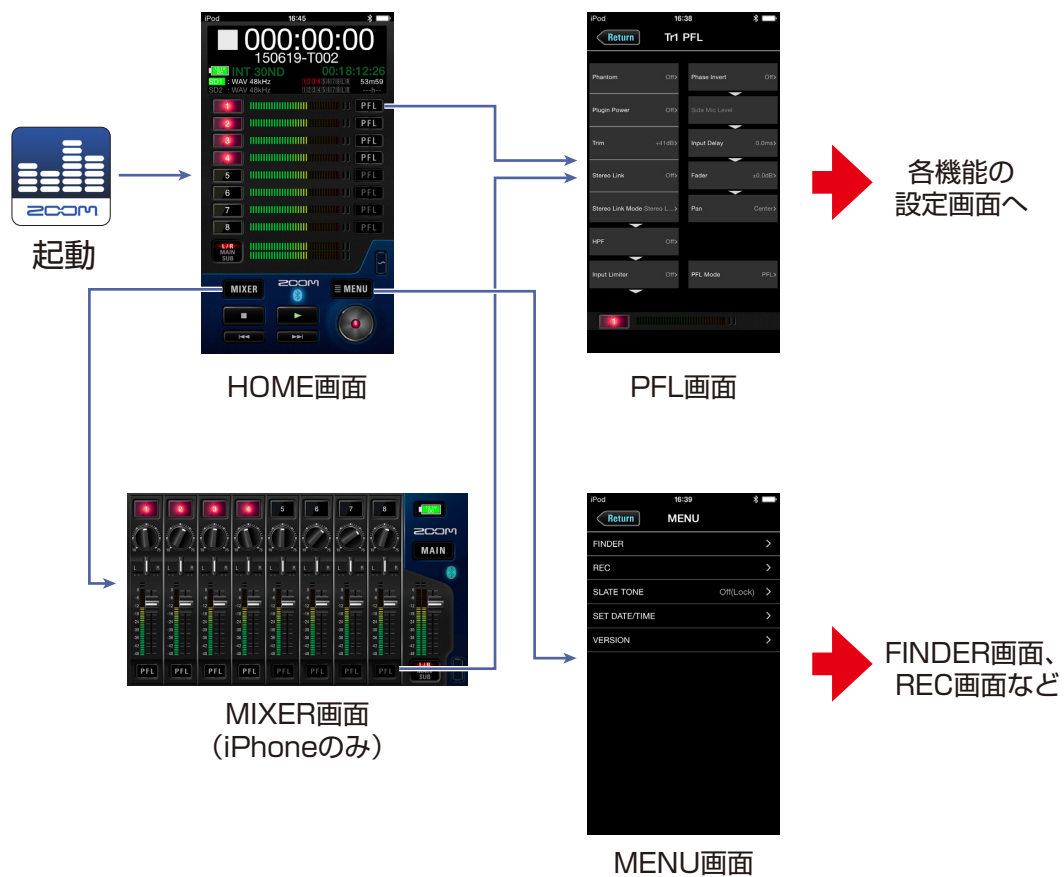
F8とパスワードが一致すると、HOME画面が表示されます。

MEMO

- ・ ペアリングがうまくできない場合、**F8**との距離を近づけたり、電波をさえぎるものがない場所に移動してF8 Controlを起動し直してください。または、iOS機器側のBluetooth機能が使用可能な状態であることを確認してください。

操作画面について

● 画面の流れ



■ HOME画面 (iPad版)

iPad版では、HOME画面上でMIXER画面の全ての操作が行えます。
独立したMIXER画面はありません。



HOME画面

F8 Controlを起動すると、HOME画面が表示されます。



MIXER画面



● 文字入力画面

テイク、フォルダー名などの入力を行う場合、文字入力画面が表示されます。



1. キーボードで文字を入力する

入力した内容がテキストボックスに表示されます。

MEMO

- ・ 入力に使用できる文字は以下のとおりです。
(スペース) !# \$% &'()+,-0123456789;=@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{ }~
「Note」以外の入力では、文字先頭に「@」「(スペース)」は入力できません。

2. 入力が終わったら、**Enter** をタップする

入力した内容が確定します。

入力を取り消す場合は、**Return** をタップします。

録音の準備

● 録音するSDカード、録音ファイルの形式を設定する

SDカードスロット1、2のそれぞれに対して、録音するファイルの形式を設定します。



1. HOME画面で **MENU** をタップする
2. MENU画面で**[REC]**をタップする
3. REC画面で**[Rec to SD1]** / **[Rec to SD2]**をタップし、設定を変更する

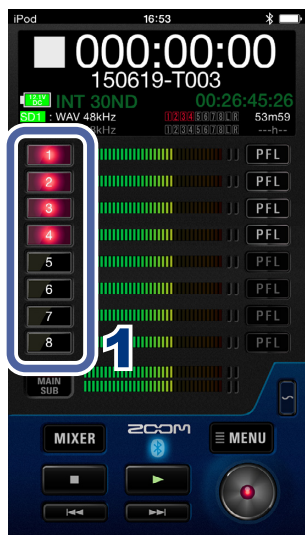
MEMO

- ・ 詳しくは本体マニュアルの「録音するSDカード、録音ファイルの形式を設定する」を参照してください。

録音する

● 入力を選択するには

使用する入力をインプット1～8の中から選択します。

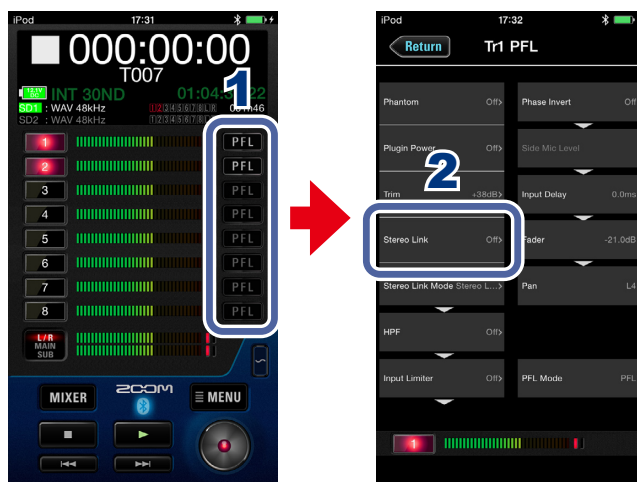


1. HOME画面で、録音するインプットのトラック選択ボタンをタップする

録音対象になるトラックは赤く点灯し、録音しないトラックは黒く表示されます。

● ステレオリンクを設定するには

トラック1/2、3/4、5/6、7/8をステレオトラックとして使うことができます。



1. HOME画面でステレオリンクを設定するトラックの **PFL** をタップする

2. PFL画面で[Stereo Link]をタップし、変更を行う

MEMO

- 詳しくは本体マニュアルの「入力を選択する・レベルを調節する」を参照してください。

● 入力レベルを調節するには



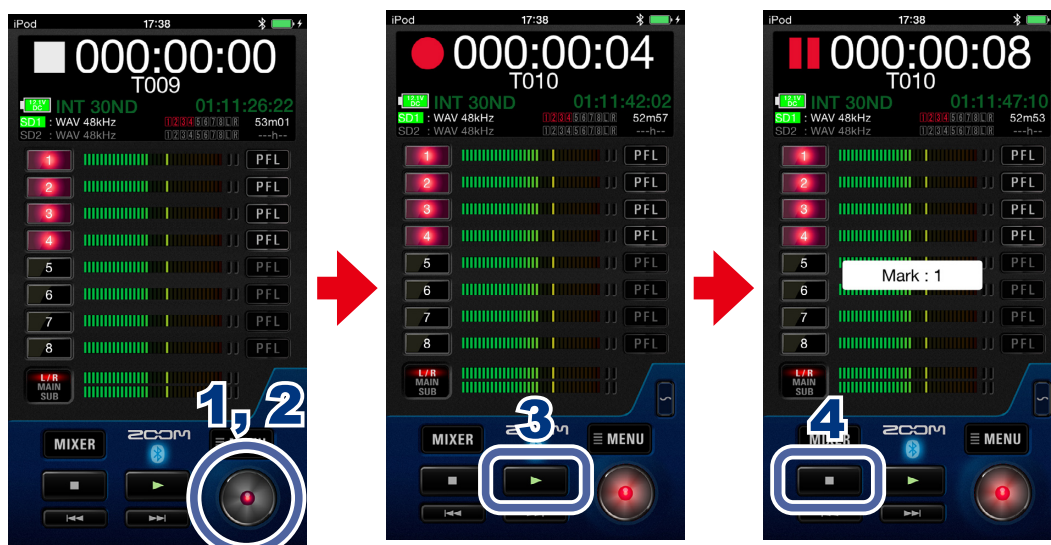
1. HOME画面で **MIXER** をタップする
iPadの場合、HOME画面で行います。
2. MIXER画面で、調節するトラックの入力トリムノブを上下にドラッグし、レベルを調節する



MEMO

- ・ 入力トリムノブをダブルタップすると、設定値を初期化できます。

● 録音する



1. HOME画面で  をタップする

2. 録音中に次テイクの録音を開始するには をタップする

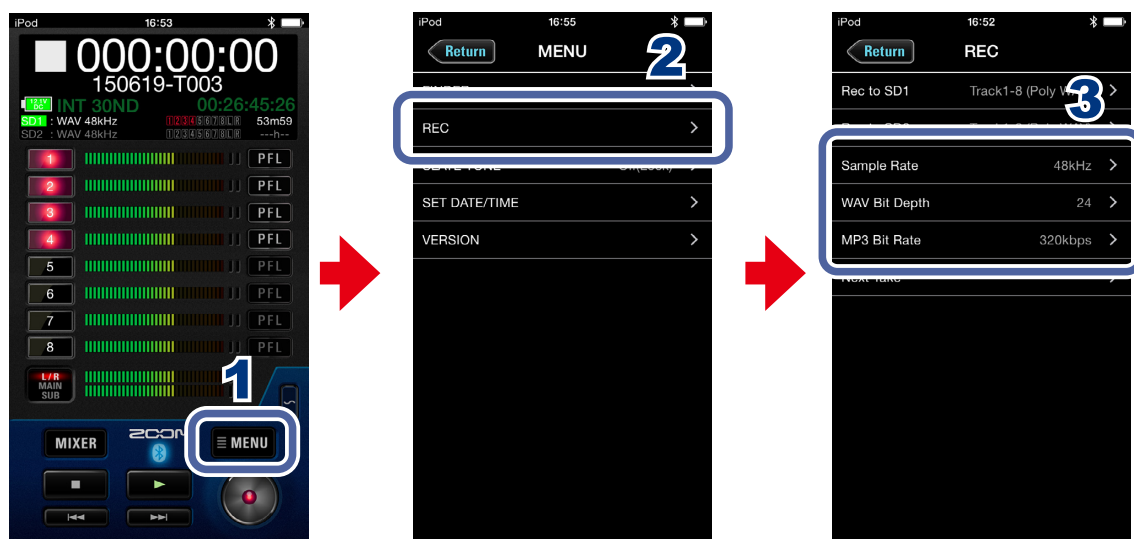
録音は継続したまま現在の録音を停止し、新たに録音が始まります。

3. 一時停止するには をタップする

もう一度  をタップすると録音を再開します。

4. 停止するには をタップする

録音フォーマットを設定する



1. HOME画面で MENU をタップする

2. MENU画面で[REC]をタップする

3. REC画面で設定を変更する項目をタップし、変更を行う

■ Sample Rate

録音するファイルのサンプルレートを設定します。

■ WAV Bit Depth

録音するWAVファイルのビット深度を設定します。

■ MP3 Bit Rate

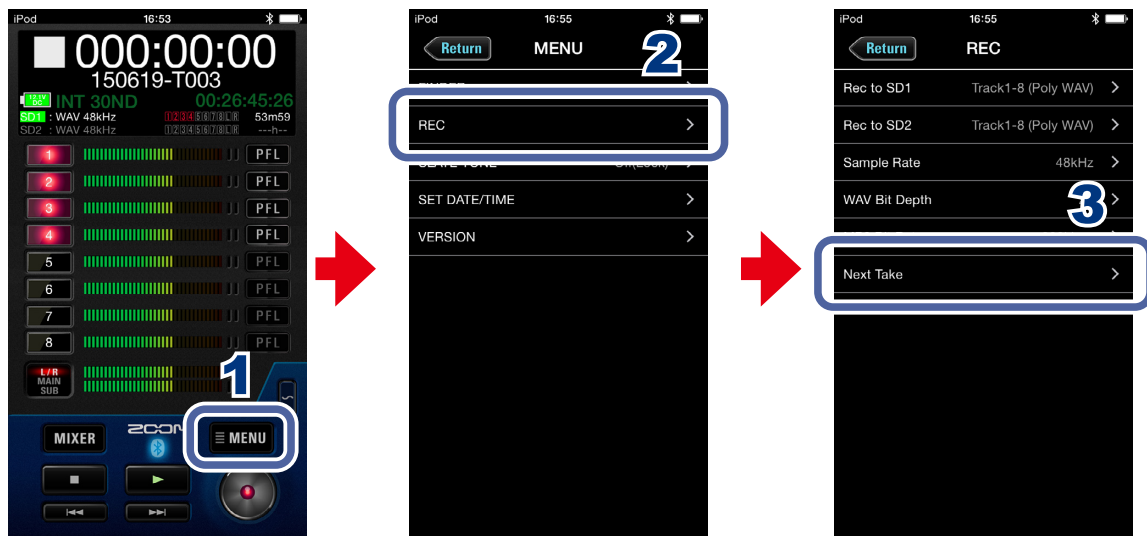
録音するMP3ファイルのビットレートを設定します。

MEMO

- ・ 詳しくは本体マニュアルの下記ページを参照してください。
「サンプルレートを設定する (Sample Rate)」
「WAVファイルのビット深度を設定する (WAV Bit Depth)」
「MP3ファイルのビットレートを設定する (MP3 Bit Rate)」

録音時のテイク設定を変更する

録音時のテイクのシーン名などを変更します。



1. HOME画面で **MENU** をタップする
2. MENU画面で **[REC]** をタップする
3. REC画面で **[Next Take]** をタップする
4. 設定を変更する項目をタップし、変更を行う

■ Note Edit

メタデータとして次に録音されるテイクにメモなどの文字を入力します。

■ Scene Name Mode

次に録音されるテイクのシーン名のつけ方(モード)を選択します。

■ User Scene Name Edit

Scene Name Modeで「User Name」を選択した場合、ここで変更したシーン名が使用されます。

■ Take Reset Mode

テイク番号のリセット条件を設定します。

MEMO

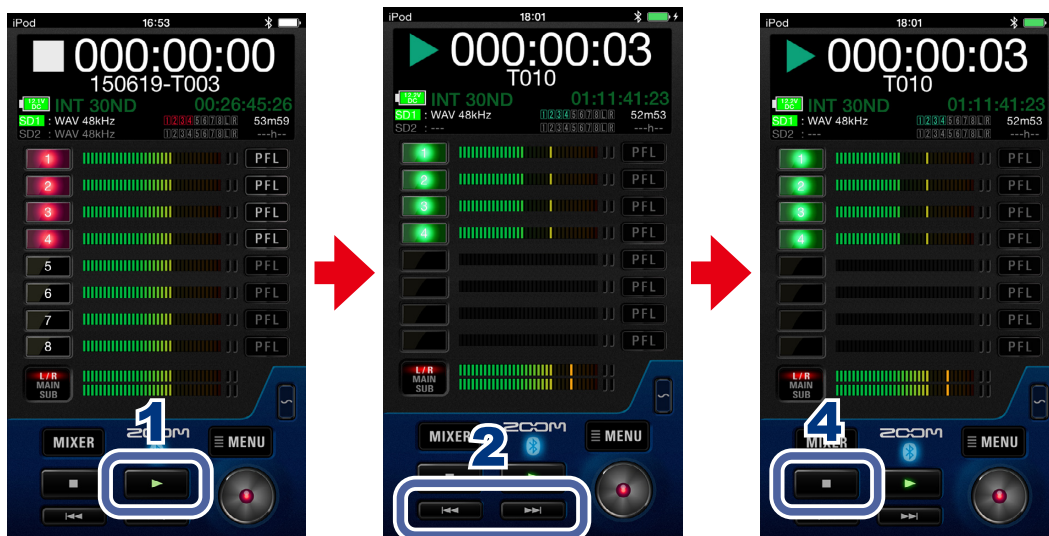
- ・ 詳しくは本体マニュアルの「録音時のテイク設定を変更する (Next Take)」を参照してください。

再生する

● 再生するテイクを選択する

1. HOME画面で   をタップする
再生テイクが切り替わります。

● 再生する



1. HOME画面で  をタップする
2. 早送りするには  を、早戻しするには  をホールドする
マーク位置の頭出しを行うには、  をタップします。
3. 一時停止するには  をタップする
もう一度  をタップすると再生を再開します。
4. 停止するには  をタップする

● テイクをミキシングする



1. HOME画面で  をタップする

2. **MIXER** をタップする

iPadの場合、HOME画面で行います。

3. MIXER画面で各パラメーターの設定値を変更する

■ パンフェーダーを操作する

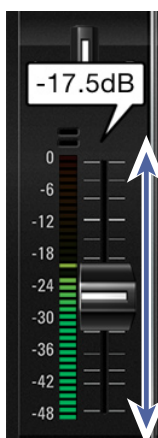


パンフェーダーを左右にドラッグすると値を変更できます。

MEMO

- ・ パンフェーダーをダブルタップすると、設定値を初期化できます。

■ レベルフェーダーを操作する



レベルフェーダーを上下にドラッグすると値を変更できます。

MEMO

- ・ レベルフェーダーをダブルタップすると、設定値を初期化できます。
また、設定値が初期値の時は、設定値をMuteに設定できます。

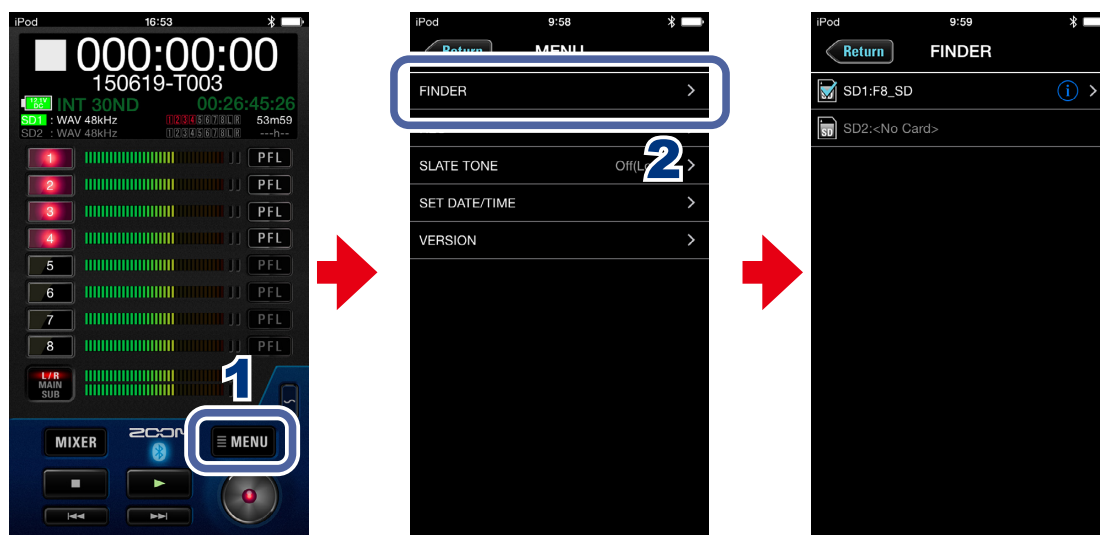
MEMO

- ・ **L/R MAIN SUB** をタップしてL/Rに切り替えると、L/Rのレベルを変更できます。

フォルダー／テイクの操作

FINDER画面を表示する

F8のSDカード内のフォルダー／テイクの編集・確認は、FINDER画面で行います。



1. HOME画面で、**MENU** をタップする

2. MENU画面で、[FINDER] をタップする

SDカード／フォルダーの内容を表示する



1. FINDER画面で、表示したいSDカード／フォルダー名をタップする
SDカード／フォルダー内のフォルダー／テイク一覧が表示されます。

2. 1つ上の階層に戻るには、**Return** をタップする

● フォルダー／テイクを操作する

フォルダー／テイクの情報の確認、名前の変更、メタデータの編集を行うことができます。



1. 操作したいフォルダー／テイク名の右側にある をタップする

オプション画面が表示され、以下の情報を確認できます。

情報表示の内容

選択項目	項目名	内 容
SDカード	Free Size Remain	空き容量 サイズ 残り録音可能時間
フォルダー	Path Date Time	フォルダーのパス 作成日 作成時刻
テイク	Path TC FPS Len Fmt Date Time Size Side Mic Level	テイクのパス タイムコード フレームレート 時間長 録音フォーマット 作成日 作成時刻 サイズ MSサイドマイクレベル

2. 設定を変更または操作する項目をタップする

■Select

再生するテイクの保存されたフォルダー、または録音したテイクを保存するフォルダーを選択し、HOME画面に戻ります。

MEMO

- ・ 選択したSD カードまたはフォルダー内の最初のテイクが再生テイクとして選択された状態になります。

■Rename

フォルダー／テイク名を変更します。文字の入力方法は「文字入力画面」(→P.7)を参照してください。

■Mata Data Edit

テイクの情報(メタデータ)を確認、編集します。

MEMO

- ・ 詳しくは本体マニュアルの「テイクの情報(メタデータ)を確認、編集する」を参照してください。

入力信号に関する設定

● 入力信号のモニターバランスを調節するには



1. HOME画面で **MIXER** をタップする
iPadの場合、HOME画面で行います。

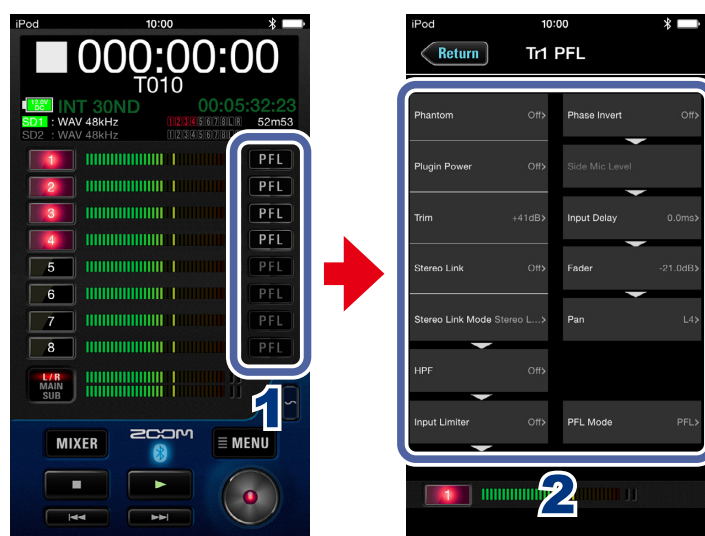
2. 各パラメーターの設定値を変更する

MEMO

- ・ 調節方法については「テイクをミキシングする」(→P.14)を参照してください。
- ・ ここで調節した音量やパンはモニター信号にのみ有効で、録音データには反映されません。
- ・ **L/R MAIN SUB** をタップしてL/Rに切り替えると、L/Rのレベルを変更できます。

トラックごとの各種設定を行う

それぞれのトラックに対する設定は、PFL画面で行います。



1. HOME画面で設定を行うトラックの **PFL** をタップする
PFL画面が表示されます。

2. PFL画面で設定を変更する項目をタップし、変更を行う

■ Phantom

各入力ごとにファンタム電源のOn/Offと電圧の設定が可能です。

■ Plugin Power

プラグインパワーに対応しているマイクをマイクカプセルの[MIC/LINE]入力端子に接続する場合に設定します。

■ Trim

入力レベルを調節します。

■ Stereo Link

入力のステレオリンクを設定します。

■ Stereo Link Mode

ステレオリンクしたトラックに入力したMS方式のステレオマイクの信号を、通常のステレオ信号に変換します。

■ HPF

低域をカットして、風雑音やボーカルのポップノイズなどを軽減できます。

■ Input Limiter

レベルが高すぎる入力信号を抑えて、信号が歪むのを防ぎます。

■ Phase Invert

入力信号の位相を反転させます。

■ Side Mic Level

MSタイプのマイクカプセルを使用したトラックで、録音前にサイドマイクレベル(ステレオ幅)を調節できます。

■ Input Delay

各インプットの音にタイミングのズレがある場合、それを補正して録音できます。

■ Fader

入力信号の音量を調節します。

■ Pan

左右の音のバランスを調節します。

■ PFL Mode

PFL画面でモニターする音を、プリフェーダー (PFL) / ポストフェーダー (SOLO)のどちらかに設定できます。

MEMO

- ・ 詳しくは本体マニュアルの下記ページを参照してください。
 - 「ファンタム電源の設定を変更する (Phantom)」
 - 「プラグインパワーの設定を変更する (Plugin Power)」
 - 「入力を選択する・レベルを調節する」
 - 「入力信号をMS方式からステレオにエンコードする (Stereo Link Mode)」
 - 「ノイズを軽減する [低域カット] (HPF)」
 - 「入力リミッター (Input Limiter)」
 - 「入力位相反転 (Phase Invert)」
 - 「MSタイプのマイクカプセルのサイドマイクレベルを調節する (Side Mic Level)」
 - 「入力信号に遅延をかける (Input Delay)」
 - 「PFL画面でのモニター音を設定する (PFL Mode)」

出力に関する設定

● 出力レベルを調節するには

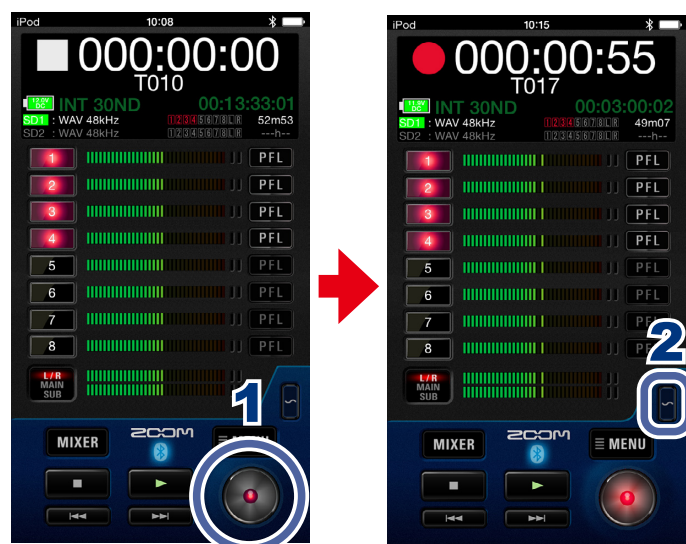


1. HOME画面で **MIXER** をタップする
iPadの場合、HOME画面で行います。
2. MIXER画面で **L/R MAIN SUB** をタップして、MAINまたはSUBに切り替える
3. 出力のレベルフェーダーを上下にドラッグし、レベルを調節する

スレートトーンを録音する

録音する

録音開始時にスレートトーンを入れることで、編集作業時に動画ファイルとの位置合わせがしやすくなります。



1. HOME画面で  をタップする

2. HOME画面で  をタップする

MEMO

- ・  を1秒以上ホールドすると、スレートトーンが有効になったままになり、再度  をタップすると無効になります。

スレートトーンを無効にする

 を誤ってタップした時、有効にならないように設定します。

1. HOME画面で  をタップする

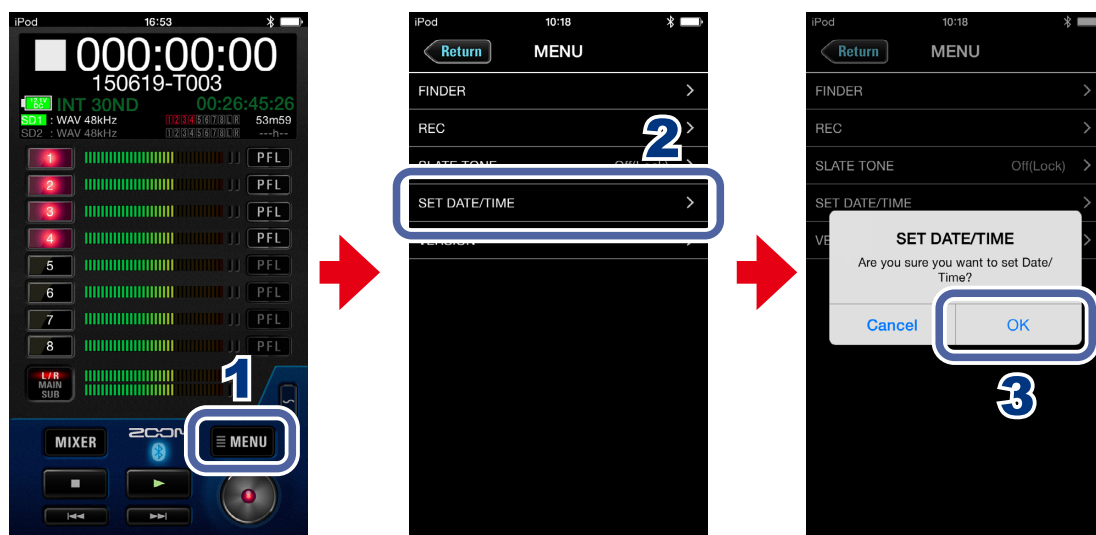
2. MENU画面で[SLATE TONE]をタップする

3. [SLATE TONE]画面で[Off(Lock)]をタップする

その他の機能

● 日付／時刻を設定する

F8の日付／時刻を、iOS機器のシステムクロックに合わせます。



1. HOME画面で **MENU** をタップする
2. MENU画面で[SET DATE/TIME]をタップする
3. 確認の画面で「OK」をタップする
F8の日付／時刻が設定されます。

● F8 Controlのバージョンを表示する

F8 Controlのバージョンを確認します。

1. HOME画面で **MENU** をタップする
2. MENU画面で[VERSION]をタップする



株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3
<http://www.zoom.co.jp>